

速水御舟の全貌

—日本画の破壊と創造—

*The Destruction and Creation of Nihonga
—Hayami Gyoshū: A Retrospective*

2016年
10月8日(土) - 12月4日(日)

*会場中、一部席を貸さないいたします。

前売：10月8日(土) - 11月6日(日) 後期：11月8日(火) - 12月4日(日)

[会場時間] 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

[休館日] 月曜日(但し、10月10日は開館)

[入館料] 一般：2,000円(1,000円)

大學生：1,000円(500円)

中学生以下：無料

[主 催] 山種美術館、SMBOコレクション財團

[協 賛] 山種美術館、日本美術出版社

[会 場] 山種美術館 H-1 500-0001-2 東京都渋谷区広尾3-12-36

[お問い合わせ] ハローワイド 03-5477-18600

(平日午後3時～午後5時)



山種美術館
Yamatane Museum of Art



《茶の軽舟》1920(大正9)年 紙本・彩色
東京国立博物館蔵 [1/12-1/24展示]

開館50周年記念特別展 —Hayami Gyoshū: A Retrospective— 速水御舟の全貌

—日本画の破壊と創造—

「梯子の頂上に登る勇氣は貴い、更にそこから降りて来て、再び登り返す勇氣を持つ者は更に貴い」と語り、新しい日本画を目指して努力と挑戦を続けた日本画家・速水御舟(1894-1935)。山種美術館の創立者である山崎穂二(1893-1983)は、早世した御舟と実際に会うことはかないませんでしたが、機会あるごとに御舟の作品を見集め、自宅の床の間にかけて楽しんでいました。1976年に旧安宅産業コレクションの御舟作品105点を一括購入し、120点の御舟作品を所蔵することになった山種美術館は、以来、「御舟美術館」として親しまれています。開館50周年を記念し、この当館の「顔」ともいえる御舟コレクションに他所蔵の代表作品も加え、初期から晩年にいたる御舟の作品約80点を展示し、その画業の全貌を紹介する回顧展を開催いたします。



《花の軽舟》1932(昭和7)年 紙本・彩色
株式会社如意堂蔵



《春の皿に紙幅》1921(大正10)年 紙本・彩色



《名樹散縷》【春華文化財】1929(昭和4)年 紙本墨書き・彩色 山種美術館蔵



《牡丹花(春牡丹)》1934(昭和9)年 紙本・墨彩色
山種美術館蔵



《洛北傳寺翠竹》1918(大正7)年 紙本・彩色
滋賀県立近現代美術館蔵 [10/6-11/20展示]



《日向菊》1922(大正11)年 紙本・彩色
豊富寺賛一コレクション



《水仙(春蘭)》
【春華文化財】1931(昭和6)年
紙本・墨書き・田中明峰蔵
[10/6-11/6展示]

開通トークイベント(事前予約・購入料)

「日本美術応援団 速水御舟を応援する」

出演者：山下 晃二 氏 (明治学院大学教授／日本美術史研究代表者)
井澤 貴氏 (俳優・クリエーター／日本美術応援団運営3期)

日 時：2016年10月8日(土) 18:00-19:30

会 場：墨院大学 学術メディアセンター(AMC) 常磐松ホール
主 催：山種美術館 (お問い合わせ: ハローデイ110: 03-6777-8600)

定 員：250名(先着順)

参加費：3,000円(全自由席)／お一人様

(税込)「速水御舟の全貌」展入場料を含みます)

*割引ごとの併用はできません。

*当日の入場は、ネット販売の券号欄のご観内となります。

*イベントのお申し込み及び詳細は、当館Webサイトのイベント情報をご覧ください。

きもの 割引

会期中、きものでご来館のお客様は、团体割引料金となります。

*複数の割引の併用はできません。

次回 美術会 の会場

開館50周年記念特別展 山種コレクション名品選Ⅲ

日本画の教科書 『日本画の名作』

日本画の絵画科 一幅、松島から八部、竹島へ—

2016年12月10日(土)~2017年2月5日(日)



山種美術館
Yamatane Museum of Art



〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-12-36

ハローダイヤル 03-5777-8600 (電話受付時間 8:00-22:00)

URL <http://www.yamatane-museum.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/yamataneimuseum/>



速水御舟の全貌
【割引券】